

プログラム（第2日目） 12月3日（月）

《 口 演 》

7:00～8:00 モーニングセミナー

座長 荻野 雅宏
共催 大塚製薬株式会社
「脳神経外科医が診るてんかん Up to date」
岐阜大学 脳神経外科 矢野 大仁

8:00～9:00 スポンサーセッション2 分子病理、分子病態

座長 廣瀬 雄一
共催 中外製薬株式会社
「Dissecting Single-cell Programs in Adult Gliomas」
Mario L. Suva
Department of Pathology, Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School, Boston, MA, USA

9:00～10:45 シンポジウム1 脳腫瘍の分子病理・病態

(Molecular pathology and physiology of brain tumors)

座長 浅井 昭雄、岩立 康男

- S1-1 多能性幹細胞に遺伝子編集技術を応用した膠芽腫モデルの確立
カリフォルニア大学サンディエゴ校 ラドウィグ癌研究所 甲賀 智之
- S1-2 BAI1-TGF β シグナルを介したグリオーマ細胞浸潤獲得機序の解明と新規治療戦略
エモリー大学 脳神経外科 大須賀 寛
- S1-3 PI3K/AKT/mTOR 経路の遺伝子異常は oligodendroglioma の悪性化に関与する
横浜市立大学大学院 医学研究科 脳神経外科学 立石 健祐
- S1-4 IDH 変異を有する星細胞腫系腫瘍にみられる脱メチル化の意義
東京大学 医学部 脳神経外科 野村 昌志
- S1-5 膠芽腫におけるコピー数異常プロファイルの臨床的意義の検討
大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 梅原 徹
- S1-6 膠芽腫における空間的不均一性とクローン進化
アラバマ大学バーミングハム校 脳神経外科 山下 大介

S1-7 脊髄グリオーマの臨床像と遺伝子解析

東京大学 医学部 脳神経外科 田中 将太

S1-8 DMD genomic deletions characterize a subset of progressive/higher-grade meningiomas with poor outcome

Translational Neuro-Oncology Laboratory, Department of Neurosurgery,
Massachusetts General Hospital Cancer Center, Harvard Medical School, Boston, MA, USA
Tareq A. Juratli

10 : 45 ~ 12 : 00 口演 1 脳腫瘍の病理と病態

座長 竹島 秀雄、吉本 幸司

O1-1 血清 micro RNA を用いた脳腫瘍の Liquid biopsy の有用性の検討

国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科 大野 誠

O1-2 WHO grade II diffuse glioma の悪性転化リスクを最小化する治療タイミング

名古屋大学 医学部 脳神経外科 青木 恒介

O1-3 小児テント上悪性グリオーマの分子診断と臨床像

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科 吉本 幸司

O1-4 グリオーマ分子診断の全国実態調査 2017 の最終報告

京都府立医科大学大学院 脳神経外科学 橋本 直哉

O1-5 プレシジョン = メディシンを念頭に入れた脳腫瘍モデル確立の試み

新潟大学脳研究所 脳神経外科 棗田 学

O1-6 膠芽腫における受容体型チロシンキナーゼ AXL と腫瘍微小環境

山口大学医学部附属病院 脳神経外科 貞廣 浩和

O1-7 転写共役因子 YAP/TAZ による CCN1 の発現誘導を介した悪性神経膠腫進展の分子メカニズム

岡山大学大学院 脳神経外科 畝田 篤仁

O1-8 PCNSL の PIM1 遺伝子変異は Pim1 細胞内局在の変化から BAD リン酸化を介し細胞死を制御する

杏林大学大学院 医学研究科 脳神経外科 佐々木重嘉

O1-9 PCNSL に対する大量メソトレキセート療法においてポリグルタミン化誘導がもたらす効果

熊本大学医学部附属病院 脳神経外科 藤本 健二

12:00 ~ 13:00 ランチョンセミナー1 脳腫瘍治療のUP TO DATE

座長 隈部 俊宏
共催 ノーベルファーマ株式会社
診断 「5- アミノレブリン酸と術中蛍光診断」
産業医科大学 医学部 脳神経外科 山本 淳考
治療 「神経膠腫に対する局所療法のUP TO DATE」
東北大学 脳神経外科 斎藤 竜太

13:00 ~ 13:30 通常総会・次期会長挨拶

13:30 ~ 14:00 星野賞授与式・受賞記念講演

星野賞事務局

14:00 ~ 15:00 スポンサーセッション3 Glioma Surgery

座長 村垣 善浩
共催 MSD 株式会社
<Keynote Lecture>
「The WHO 2016 era - bringing new approaches and tools for brain tumor surgery」
Daniel P. Cahill
Department of Neurosurgery Harvard Medical School and Brain Tumor Center/
Neuro-Oncology Massachusetts General Hospital, Boston, MA, USA

15:00 ~ 16:00 シンポジウム2 次世代の脳腫瘍手術 - 手術戦略と機器・装置

(Surgical strategy and tools of the next generation)

座長 上羽 哲也、中村 英夫

- S2-1 次世代グリオーマ手術戦略の現状と近未来 - 脳機能温存を重要視した最大限の腫瘍摘出 -
名古屋大学 医学部 脳神経外科 本村 和也
- S2-2 積極的神経膠腫摘出のため本質的な3種情報をネットワークで統合したスマート治療室
東京女子医科大学先端生命医科学研究所 先端工学外科学分野 村垣 善浩
- S2-3 偶然発見された低悪性度神経膠腫とみなされる病変に対する手術介入時期決定の問題点
北里大学 医学部 脳神経外科 隈部 俊宏
- S2-4 顕微鏡脳神経外科時代から外視鏡脳神経外科時代への挑戦
北里大学メディカルセンター 脳神経外科学 岡 秀宏
- S2-5 実質性脳腫瘍に対する内視鏡手術の現状と今後
京都大学 医学部 脳神経外科 荒川 芳輝

16 : 00 ~ 16 : 30 教育講演 2

「脊髄髄内腫瘍の多様性と治療戦略」

座長 若林 俊彦

獨協医科大学 脳神経外科 金 彪

16 : 30 ~ 17 : 00 スポンサーセッション 4

「脳腫瘍手術の learning curve について」

座長 園田 順彦

共催 Integra Japan 株式会社

大阪大学大学院 医学系研究科 木下 学

17 : 00 ~ 18 : 30 Meet & Talk to the Experts with Afternoon Tea 1

Facilitator 園田 順彦

Daniel P. Cahill

Department of Neurosurgery Harvard Medical School and Brain Tumor Center/
Neuro-Oncology Massachusetts General Hospital, Boston, MA, USA

17 : 00 ~ 18 : 30 Meet & Talk to the Experts with Afternoon Tea 2

Facilitator 武笠 晃丈

Mario L. Suva

Department of Pathology, Massachusetts General Hospital and
Harvard Medical School, Boston, MA, USA

17 : 00 ~ 18 : 30 Meet & Talk to the Experts with Afternoon Tea 3

Facilitator 寺島 慶太

Donald W. Parsons

Department of Baylor College of Medicine and Texas Children's Hospital, Houston. TX, USA

17 : 00 ~ 18 : 30 Meet & Talk to the Experts with Afternoon Tea 4

Facilitator 田中 將太

Joon H. Uhm

Department of Neurology and Department of Oncology, Mayo Clinic, Rochester, MN, USA

19 : 00 ~ 21 : 00 懇親会

《 ポスターセッション 》

21 : 00 ~ 22 : 25 ポスターセッション 8 脳腫瘍手術のツールと戦略

座長 山本 淳考、丸山 隆志

- P8-1 脳腫瘍摘出術における ORBEYE Video Microscope の有用性と今後の展開
京都大学 医学部 脳神経外科 峰晴 陽平
- P8-2 超高精細 4K-3D ビデオ顕微鏡 ORBEYE の初期使用経験
長崎大学 医学部 脳神経外科 鎌田 健作
- P8-3 超高精細 CT による微小血管描出と 3 次元融合画像を用いたグリオーマ手術
杏林大学 医学部 脳神経外科学 齊藤 邦昭
- P8-4 運動野グリオーマの摘出術における覚醒下手術・経皮質 MEP モニタリング併用の有用性
東京女子医科大学 脳神経外科 齋藤 太一
- P8-5 視覚誘発電位 VEP が術中モニタリングとして有用であった脳腫瘍の 2 手術症例
福島県立医科大学 医学部 脳神経外科学講座 岩楯 兼尚
- P8-6 聴神経腫瘍に対する覚醒下後頭下開頭腫瘍摘出術 有効性と今後の課題
都立駒込病院 脳神経外科 串原 義啓
- P8-7 Tubular retractor を用いた white epidermoid の摘出術
広島大学 医歯薬保健学研究科 脳神経外科 高野 元気
- P8-8 充実性小脳血管芽腫に対する術前塞栓術
獨協医科大学 脳神経外科 矢島 寛久
- P8-9 積極的外科切除を基にした視床 glioma に対する治療戦略
東京女子医科大学 脳神経外科 丸山 隆志
- P8-10 高齢者低悪性度神経膠腫の臨床病理像：関西中枢神経腫瘍分子診断ネットワーク登録症例の解析
関西中枢神経腫瘍分子診断ネットワーク 深井 順也
- P8-11 覚醒下手術にて low grade glioma を機能的に切除することで術後 QOL を改善できるか？
藤田医科大学 医学部 脳神経外科 武藤 淳
- P8-12 神経膠腫が疑われる無症候性 FLAIR 高信号病変の治療方針
山形大学 医学部 脳神経外科 菊地 善彰

- P8-13 無症候性グリオーマの治療成績
奈良県立医科大学 脳神経外科 松田 良介
- P8-14 Insular glioma 術後の脳血管攣縮 - 自験例 3 症例の検討 -
埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科 前田 拓真
- P8-15 開頭生検術後に腫瘍内出血を来した成人膠芽腫
産業医科大学 脳神経外科 山本 淳考
- P8-16 頭蓋内腫瘍摘出術に対して KINEVO900 を用いた 3D exoscopic surgery の有用性
大阪医科大学 脳神経外科・脳血管内治療科 福尾 祐介
- P8-17 膠芽腫に対する高次脳機能温存型覚醒下手術の役割
金沢大学 脳神経外科 木下 雅史

21:00 ~ 22:15 ポスターセッション 9 診断と治療における画像情報

座長 鎌田 健作、田村 郁

- P9-1 術中 MRI 時代のグリオーマ摘出術における術中 CT の有用性の検討
福井大学 医学系部門 医学領域感覚運動医学講座脳脊髄神経外科分野 山内 貴寛
- P9-2 仮想空間と実空間の情報融合を用いた拡散テンソルトラクトグラフィによる手術支援
東京大学 医学部 脳神経外科 小池 司
- P9-3 Glioma 手術における 5-ALA 誘導蛍光強度と 11C-Methionine PET uptake の比較検討
東京医科歯科大学 脳神経外科 清水 一秀
- P9-4 perfusion MRI を用いた髄膜腫の血行動態の解析
仙台医療センター 脳神経外科 斉藤 敦志
- P9-5 再発膠芽腫に対し新規治療薬投与後に偽増悪を呈し、診断に機能画像が有用であった一例
東京女子医科大学病院 臨床研究支援センター 臨床研究管理室 代田 雅美
- P9-6 造影後 FLAIR thin slice による髄膜播種病変の早期診断
長崎大学病院 脳神経外科 吉田 光一
- P9-7 拡散画像を入力とした深層学習による神経膠腫の悪性度診断
東京大学 医学部 脳神経外科 高橋 慧
- P9-8 抗組織因子抗体を用いたグリオーマイメージングと抗体の薬物輸送への応用
国立がん研究センター 先端医療開発センター 新薬開発分野 高島 大輝

- P9-9 3 Tesla MRI を用いた初発星細胞系神経膠腫の予後予測に関する検討
大分大学 医学部 脳神経外科 札幌 博貴
- P9-10 広範囲に浸潤するグリオーマの予後因子：画像所見と分子診断についての検討
佐賀大学 医学部 脳神経外科 中原由紀子
- P9-11 MRI 画像のテクスチャー解析による SFT/HPC と angiomatous meningioma の鑑別の試み
慶応義塾大学 医学部 脳神経外科 金澤 徳典
- P9-12 ベバシズマブ治療により良好な経過が得られた症例の画像的特徴
鳥取大学 医学部 脳神経外科 神部 敦司
- P9-13 ベバシズマブの効果を予測する術前画像情報の解析
藤田医科大学 医学部 脳神経外科 西山 悠也
- P9-14 Arterial spin labeling で悪性神経膠腫でのギリアデル留置後の局所再発を予測しうる
岩手医科大学 医学部 脳神経外科 佐藤 雄一
- P9-15 術前 Methionine-PET 施行困難膠芽腫症例における腫瘍存在範囲予測
岐阜大学 脳神経外科 中山 則之

21:00 ~ 22:35 ポスターセッション 10 分子病態

座長 阿部 竜也、吉野 篤緒

- P10-1 未分化状態のヒト悪性神経膠腫細胞株は indoleamine 2,3-dioxygenase を高発現している
日本大学 医学部 脳神経外科 山室 俊
- P10-2 膠芽腫の Oct-3/4 を介した MGMT 遺伝子発現調節における DNMT1 の役割
愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 井上 明宏
- P10-3 Lenalidomide における悪性神経膠腫細胞株への作用
日本大学 医学部 脳神経外科学系神経外科学分野 花島 裕也
- P10-4 神経膠腫治療における新規腫瘍血管内皮細胞マーカー PSMA 解析の有用性
筑波大学 医学医療系 脳神経外科 松田 真秀
- P10-5 Annexin A2 の発現変化によって誘導されるグリオーマ表現型シフトの機序解明
岡山大学大学院 脳神経外科 松本 悠司
- P10-6 Glioblastoma における Formin-like 1 (FMNL1) の機能について
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 脳神経外科 比嘉那優大

- P10-7 新たな癌抑制遺伝子候補 CLIC2 の癌抑制機構解明の追究
愛媛大学 医学部 脳神経外科 尾崎 沙耶
- P10-8 Notch シグナル活性化促進転写因子 RBPJk の抑制による膠芽腫幹細胞悪性形質の制御
金沢大学 脳神経外科 田中 慎吾
- P10-9 ヒト由来中枢神経原発悪性リンパ腫細胞株の樹立
横浜市立大学附属病院 脳神経外科 三宅 勇平
- P10-10 ヒト由来異種脳腫瘍モデル形成能と宿主腫瘍背景についての検討
横浜市立大学 医学部 脳神経外科 三宅 茂太
- P10-11 グリオーマ初代培養確立株の特性の検討と patient derived xenograft バンク確立の試み
国立病院機構大阪医療センター 脳神経外科 木嶋 教行
- P10-12 Grade II/III 髄膜腫における CD133, CD44, Nestin の発現と予後との関係の検討
慶應義塾大学 医学部 脳神経外科 釜本 大
- P10-13 BMP4 signaling は Glioma stem-like cell の非対称分裂を誘導し幹細胞性を阻害する
佐賀大学 医学部 脳神経外科 高口 素史
- P10-14 δ -catenin は bevacizumab 誘導性 glioma 浸潤を調整する
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 脳神経外科 清水 俊彦
- P10-15 HUVEC を用いた GBM 細胞における血管新生・灌流モデルの検討
九州大学大学院 医学研究院 脳神経外科 雨宮 健生
- P10-16 悪性脳腫瘍におけるポリグルタミン化発現の意義
熊本大学医学部附属病院 脳神経外科 篠島 直樹
- P10-17 膠芽腫における染色体外癌遺伝子増幅の網羅的解析：EGFRvIII の発生機序に関する考察
カリフォルニア大学サンディエゴ校 ラドウィグ癌研究所 甲賀 智之
- P10-18 悪性神経膠腫の増殖血管における上皮間葉転換の検出
宮崎大学 医学部 臨床神経科学講座脳神経外科学分野 松元 文孝
- P10-19 グリオーマがん幹細胞における TRPML チャンネルの発現解析
関西医科大学 医学部 脳神経外科学講座 大舟 晃平

- P11-1 高悪性度髄膜腫に対するほう素中性子捕捉療法の成績と展望
大阪医科大学 医学部 がんセンター 宮武 伸一
- P11-2 初発膠芽腫に対するほう素中性子捕捉療法の第II相臨床試験～副次評価項目を中心に～
大阪医科大学 医学部 脳神経外科 川端 信司
- P11-3 75歳以上の高齢者膠芽腫に対する短期照射放射線化学療法の検討
山形大学 医学部 脳神経外科学講座 松田憲一郎
- P11-4 Temozolomide 時代の膠芽腫に対する放射線全脳照射の効果
東北大学 医学系研究科 神経外科学 齋藤 竜太
- P11-5 グリオーマにおける放射線によるDNA損傷修復について
福井大学 医学部 脳脊髄神経外科 北井 隆平
- P11-6 初発膠芽腫に対する交流電場腫瘍治療システムによるTTF療法の治療経験
東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科 齋藤 紀彦
- P11-7 高齢者初発膠芽腫に対する光線力学的療法(PDT)の有効性と安全性
東京医科大学 脳神経学分野 須田 智裕
- P11-8 NovoTTF-100A システム「オプチューン」の保険収載後2症例の使用経験
聖隷浜松病院 脳神経外科 稲永 親憲
- P11-9 小児原発性悪性脳腫瘍に対する光線力学的療法(Photodynamic therapy: PDT)の経験
東京医科大学 脳神経外科学分野 菊田 朗
- P11-10 悪性神経膠腫に対する5-ALA併用超音波力学療法の効果
愛媛大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 末廣 諭
- P11-11 初発膠芽腫に対する摘出術・ギリアデル留置後放射線・テモゾロミド併用療法の治療成績
北里大学 医学部 脳神経外科 宮坂 和弘
- P11-12 初発膠芽腫におけるcarmustine wafers留置と再発時摘出後再留置の有効性と安全性
大阪大学大学院 医学系研究科 脳神経外科 香川 尚己
- P11-13 再発膠芽腫治療の現状の問題点と再摘出を軸とした治療成績
東京女子医科大学 脳神経外科 都築 俊介

21:00 ~ 21:50 ポスターセッション 12 治療の新たなパラダイム II

座長 戸田 正博、富山 新太

- P12-1 Vstat120 を発現する腫瘍溶解ウイルスは CCN1/AKT 経路を阻害しグリオーマ浸潤を抑制する
岡山大学大学院 脳神経外科 富田 祐介
- P12-2 グリオーマに対する HSV-tk/GCV 療法における幹細胞の有用性
浜松医科大学 脳神経外科 劔持 博昭
- P12-3 抗がんウイルス G47 Δ の臨床開発の最新状況
東京大学医科学研究所附属病院 脳腫瘍外科 田中 実
- P12-4 悪性神経膠腫に対する VEGFR2 ワクチンと抗 PD-1 抗体併用療法の有効性の検討
慶應義塾大学 医学部 脳神経外科 森本佑紀奈
- P12-5 腫瘍 PD-L1 発現阻害と制御性 T リンパ球抑制の併用による新たな抗腫瘍免疫療法の開発
筑波大学 医学医療系 脳神経外科 杉井 成志
- P12-6 神経線維腫症 2 型に対する VEGF receptor ペプチドワクチンの臨床試験
慶應義塾大学 医学部 脳神経外科 戸田 正博
- P12-7 バイアスの無い方法を用いた悪性髄膜腫の新たな治療標的の探索
東京医科歯科大学 脳神経外科 工藤 琢巳
- P12-8 脳腫瘍幹細胞由来の腫瘍血管を標的とした新規抗血管新生療法の開発
岡山大学中性子医療研究センター 道上 宏之
- P12-9 STAT3 を介した細胞内シグナルは高悪性度中枢性胚細胞腫の新規治療標的となり得る
防衛医科大学校 脳神経外科 富山 新太
- P12-10 2019 年に拡大が予想される 20 の脳腫瘍研究領域～ビッグデータ解析からの予測～
東京大学 医学部 脳神経外科 花 大洵

21:00 ~ 22:20 ポスターセッション 13 脳腫瘍患者の QOL と機能予後

座長 石川 栄一、青木 友和

- P13-1 グリオーマ患者におけるレベチラセタムの治療成績
京都大学 医学部 脳神経外科 服部 悦子
- P13-2 脳腫瘍周術期におけるてんかんと最適な抗てんかん薬の選択
筑波大学 医学医療系 脳神経外科 石川 栄一

- P13-3 神経膠腫に合併したてんかん患者におけるペランパネルの発作抑制効果と腫瘍抑制効果
近畿大学医学部奈良病院 脳神経外科 泉本 修一
- P13-4 神経膠腫関連薬剤抵抗性てんかんに対するペランパネルの発作抑制効果
東京女子医科大学 脳神経外科 森谷 圭佑
- P13-5 開頭腫瘍摘出術周術期におけるてんかん発作の予防
関西労災病院 脳神経外科 森 鑑二
- P13-6 悪性神経膠腫での化学放射線治療後の脳体積変化について
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 脳神経外科 沖田 典子
- P13-7 再発悪性神経膠腫患者への回復期リハビリテーションの効果
五反田リハビリテーション病院 リハビリテーション科 岡村大二郎
- P13-8 悪性神経膠腫患者の QOL に対する症状の影響
東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部 梅崎 成子
- P13-9 小児脳腫瘍終末期患児に対する脳室腹腔短絡術の役割
和歌山県立医科大学 医学部 脳神経外科 藤田 浩二
- P13-10 膠芽腫の治療経過における経時的 QOL 評価の意義
杏林大学 医学部 脳神経外科 山岸 夢希
- P13-11 高齢者膠芽腫における併存症と予後への関連
香川大学 医学部 脳神経外科 岡田 真樹
- P13-12 悪性脳腫瘍の緩和・終末期ケアの現状と問題点
京都医療センター 青木 友和
- P13-13 Karnofsky Performance Status の低い初発悪性神経膠腫に対する bevacizumab の使用経験
岡山大学大学院 脳神経外科 坪井 伸成
- P13-14 左前頭葉神経膠腫手術成績 (前頭葉機能に与える影響)
聖マリアンナ医科大学 脳神経外科 内田 将司
- P13-15 悪性神経膠腫 周術期の高次脳機能、ADL 能力と倦怠感の特徴について
東京女子医科大学 リハビリテーション部 角田 明子
- P13-16 悪性脳腫瘍患者に対する入院化学療法の意義と緩和ケア
彩都友絃会病院 脳神経外科 鐘本 学